

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	議会運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2505001000 - 001		
		分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容				
	款	議会費	事業所管課	市議会事務局総務課			
	項	議会費	連絡先	(078)911-2600			
	目	議会費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	事業	議会運営事業	根拠法令 ・要綱等				
施策分野			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
個別計画				<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理		

事業の 目的	対象（誰を・何を）	市民、市理事者、市議会議員
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の目線に立って、市政の重要事項を決定するとともに、市政に関する監視、調査、提言を的確に行う。また、市政や市議会について分かりやすく説明する責任を果たすため、議会の様々な活動状況を積極的に発信するとともに、市民の声をより一層把握し、市政に反映するために市民参加を推進するなど、市民に分かりやすく、参加しやすい開かれた議会に向けた取り組みを進める。

事業内容	議会の広報として、市議会だより、明石ケーブルテレビによる本会議放映、議会ホームページの充実に取り組んでいる。 議員の調査研究活動に活用するため、政務調査費を会派に交付している。 議員の資質向上を図るため、議員研修会を実施している。 全国市議会議長会や全国特例市議会議長会をはじめ、各議長会の総会や研修会などに出席し、行政や議会における様々な問題や課題の解決に向けた取り組みを聴取し、市政の発展、向上に努めている。なお、今年度は都市行政問題研究会の副会長市を務める。 議会基本条例制定や議員定数、報酬の見直しに向け、議会活性化特別委員会を設置し、先進市への視察や議会報告会を開催するとともに、市議会だより等でパブリックコメントを行う。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	アルバイト	その他	
22決算	40,074	77,300	117,374	0	0	0	117,374	6.40	7.00	0.00	
23決算	44,082	69,750	113,832	0	0	266	113,566	再任用	0.00	その他	1.00
24当初予算	50,135	59,060	109,195	0	0	150	109,045	任期付	1.00	合計	8.40

区分(節)	内容	金額	24年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	消耗品費(コピー用紙等)、印刷製本費(市議会だより等)	7,758	需用費	消耗品費(コピー用紙等)、印刷製本費(市議会だより等)	5,509	
役務費	電話・電報料金、クリーニング料金等、市議会だより宅配料	850	役務費	電話・電報料金、クリーニング料金等、議会基本条例パブリックコメント用市議会だより増ページ宅配料	1,231	
委託料	市議会だより新聞折込業務委託、市議会棟掃除業務等、明石ケーブルテレビ放送料	5,483	委託料	市議会だより新聞折込業務委託、市議会棟掃除業務等、パブリックコメント用市議会だより増ページ折込代、明石ケーブルテレビ放送料、議会基本条例検討会会議録作成委託	6,777	
負担金補助及び交付金	政務調査費、議長会等年会費・出席負担金	27,499	負担金補助及び交付金	政務調査費、議長会等年会費・出席負担金	30,997	
その他	交際費、コピー使用料、市民の警察官賞、議員研修会講師謝礼等、議会報告会使用料	1,250	その他	交際費、コピー使用料、市民の警察官賞、議員研修会講師謝礼等、議会基本条例学識者等謝礼、議会報告会、市民フォーラム会場使用料	2,271	
合計		44,082		合計		50,135

整理番号	2505001000-001	事務事業名	議会運営事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	時間外勤務時間数	事業の見直し、効率化により、時間外時間数を削減することを成果指標とする。	時間	1226	1,680	1,596
	指標で表せない成果 市議会が円滑に運営されることで、市民生活の向上に寄与している。					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	・市議会は二元代表制の一翼として地方自治の根幹をなすものである。地方分権時代を迎え、市民ニーズを迅速かつ確に市政に反映するため、地方議会の重要性は今後ますます高くなるものと考えられる。そのため、市議会の運営上必要な事務全般を管轄している本事業の必要性は大きい。			
	有効性	高い	・市議会が円滑に運営されるよう、本市議会議員の報酬や政務調査費、福利厚生等の全般について事務処理を行うとともに、予算、決算を管理している。また、広報誌やケーブルテレビを通じての広報活動を行うなど、管轄する業務は多岐にわたるため、本事業の有効性は高い。			
	効率性	高い	・効率的な議会運営のために、事業費の見直しを行っている。議員報酬や政務調査費の削減など、経費削減に一定の成果を上げており、事業が効率的に実施されている。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	必要性は高く、有効性も高い事業であるため、現状の規模が妥当である。			
	手法の改善	軽微な改善	これまでも様々な効率化の取り組みを行ってきたが、今後ともさらなる経費削減に向け検討する。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
今後とも必要最小限の経費で運営することを目指し、より効率的かつ効果的な議会運営を展開できるよう努めていく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名		海外研修・国際交流事業	新規/継続	継続事業	整理番号	2505001000 - 002		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容					
	款	議会費	事業所管課	市議会事務局総務課				
	項	議会費	連絡先	(078)911-2600				
	目	議会費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	議会運営事業	根拠法令 ・要綱等					
施策分野			実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
個別計画					<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理		

事業の 目的	対象（誰を・何を）	市議会議員
	意図（どういう状態にしたいのか）	姉妹都市、友好都市を中心に市民間の交流事業を進め、相互理解を深める。

事業 内容	国際交流事業として、姉妹都市であるアメリカのパレホ市や友好都市である中国の無錫市との交流を深め、各都市における地方行政の実態及び施策の実情を調査研究するとともに、意見交換することにより、相互の認識や理解を深めている。 今年度は2期目の議員が無錫市を訪問する。
----------	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	パート	その他
22決算	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.00
23決算	1,686	0	1,686	0	0	0	1,686	0.00	0.00	0.00
24当初予算	3,064	0	3,064	0	0	0	3,064	0.00	0.00	0.00

23年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	24年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		報償費	無錫市友好訪中団添乗員通訳料		100		旅費
	旅費	無錫市友好都市提携30周年記念訪中団	1,487		需用費	消耗品費(記念品等)、食糧費(懇親会等)	600
	需用費	消耗品費(記念品等)	99		報償費	通訳料	100
	合計		1,686		合計		3,064

整理番号	2505001000-002	事務事業名	海外研修・国際交流事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	指標で表せない成果					
本市と姉妹提携を結んでいるアメリカのバレホ市や友好都市の無錫市を中心に交流の場を設けることで相互の理解と友好を深めている。						

事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明
	必要性	高い	・国際化時代を迎え、地方自治体レベルにおいても海外事情の調査研究や友好交流の取り組みが求められている。
	有効性	高い	・本市議員に国際感覚を学ぶ場を提供するとともに、市レベルの草の根の交流により、相互理解と友好親善に寄与している。
	効率性	高い	・訪問日程の短縮や記念品料の削減など、事業費削減の取り組みを行っている。
評価：高い・やや高い・やや低い・低い			

今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明
	事業の規模	維持	本市においては、バレホ市と姉妹都市提携を結び、また、無錫市とも友好都市提携を結んでおり、その必要性、有効性が高い事業であるため、現状の規模で妥当であると考えます。
	手法の改善	軽微な改善	これまで手法の見直しなど様々な効率化の取り組みを行ってきており、今年度も訪問団の日程を短縮するなどの経費削減を図った。今後ともさらなる経費削減に向けて検討する。
今後の事業展開方針			
今後とも必要最小限の経費で運営することを目指し、より効果的な事業展開ができるよう努めていく。			

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。

平成24年度 事務事業点検シート

事務事業名	本会議・委員会等運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	2505001000 - 003	
			分割/統合				
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容				
	款	議会費	事業所管課	市議会事務局総務課			
	項	議会費	連絡先	(078)911-2600			
	目	議会費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	事業	本会議・委員会等運営事業	根拠法令 ・要綱等				
施策分野			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> その他	
個別計画				<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理		

事業の 目的	対象（誰を・何を）	市民、市理事者、市議会議員	
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の目線に立って、市政の重要事項を決定するとともに、市政に関する監視、調査、提言を的確に行う。また、市政や市議会について分かりやすく説明する責任を果たすため、議会の様々な活動状況を積極的に発信するとともに、市民の声をより一層把握し、市政に反映するために市民参加を推進するなど、市民に分かりやすく、参加しやすい開かれた議会に向けた取り組みを進める。	

事業内容	本市の市政発展を図るため、他市の先進事例を視察している。 より広く、多くの情報を発信し、市民に市議会を理解してもらうとともに、市民の利便性の向上を目指し、ケーブルテレビによる本会議生中継や本会議のインターネット録画映像配信、会議録検索システムを導入している。 本会議録及び委員会記録の作成事務を行っている。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				24年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	パート	その他
22決算	7,174	45,900	53,074	0	0	0	53,074	6.60	7.17	0.00
23決算	8,888	43,350	52,238	0	0	0	52,238	再任用	0.00	その他
24当初予算	12,970	55,440	68,410	0	0	0	68,410	任期付	0.00	合計

23年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	24年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		旅費	行政視察旅費		3,044		旅費
	需用費	議案書製本費等	259		需用費	議案書製本費等	286
	委託料	会議録作成委託料等	3,872		委託料	会議録作成委託料等	4,900
	使用料及び賃借料	議会棟議場映像設備等賃借料	1,713		使用料及び賃借料	議会棟議場映像設備等賃借料	2,684
	合計		8,888		合計		12,970

整理番号	2505001000-003	事務事業名	本会議・委員会等運営事業			
事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	22年度	23年度	24年度見込み
	会議録検索システムのアクセス件数	会議録検索システムのアクセス件数が増えれば、市議会への関心が高まっているといえる。	件	7146	6,774	7,500
	インターネット中継のアクセス件数	インターネット中継アクセス件数が増えれば、市議会への関心が高まっているといえる。	件	27100	30,551	31,000
	指標で表せない成果 市議会が円滑に運営されることで、市民生活の向上に寄与している。					
事業の評価 (所管課評価)	項目	評価	説明			
	必要性	高い	・地方分権時代を迎え、市民ニーズを迅速かつ的確に市政に反映するため、地方議会の重要性は今後ますます高くなるものと考えられる。そのため、市議会の本会議及び委員会を運営する上で必要な事務を行っている本事業の必要性は大きい。			
	有効性	高い	・本会議及び委員会が円滑に運営されるよう、会議の進行管理や理事者との連絡調整などを行うとともに、会議録の作成やインターネットによる録画配信など、管轄する業務は多岐にわたり、本事業の有効性は高い。			
	効率性	高い	・行政視察旅費の削減など、経費削減に一定の成果を上げており、事業が効率的に実施されていると認められる。			
評価：高い・やや高い・やや低い・低い						
今後の事業の方向性 (所管課方針)	項目	判断	説明			
	事業の規模	維持	必要性は高く、有効性も高い事業であるため、現状の規模で妥当と考える。			
	手法の改善	軽微な改善	これまで様々な効率化の取り組みを行ってきたが、今後ともさらなる経費削減に向け検討する。			
	事業の規模の判断：拡充・維持・縮小・休廃止 手法の改善の判断：維持・軽微な改善・抜本的改善・休廃止					
今後の事業展開方針						
今後とも必要最小限の経費で運営することを目指し、より効率的かつ効果的な議会運営を展開できるよう努めていく。						

「今後の事業の方向性」は、平成24年8月末時点の所管課の方針であり今後変更する場合があります。